

高齢化を見据えた居住支援の在り方について

【目次】

1	高齢化に伴う障がい者の現状と課題	1
2	受け皿となるサービス提供体制の現状と課題	2
3	課題の整理と施策の方向	3
4	基幹グループホームの役割・機能	4

三条市地域自立支援協議会

1 高齢化に伴う障がい者の現状と課題

障がい者
高齢化社会

過去・現在

今後の予測

市全体
65歳以上

18	24,857	2,815人
24	27,672	

家族

・親等の家族の高齢化や世帯規模の縮小

市全体
世帯規模

18	3.2	-0.3人
24	2.9	

单身

・支援が得られない障がい者の单身化

障がい者
65歳以上

18	2,790	276人
24	3,066	

本人

・地域で单身生活する障がい者の高齢化

高齢化の進行により2つ課題が発生

障がい者の单身化

・選択肢を確保し、主体的な自立生活を送れるようにするためのサービス提供体制の整備

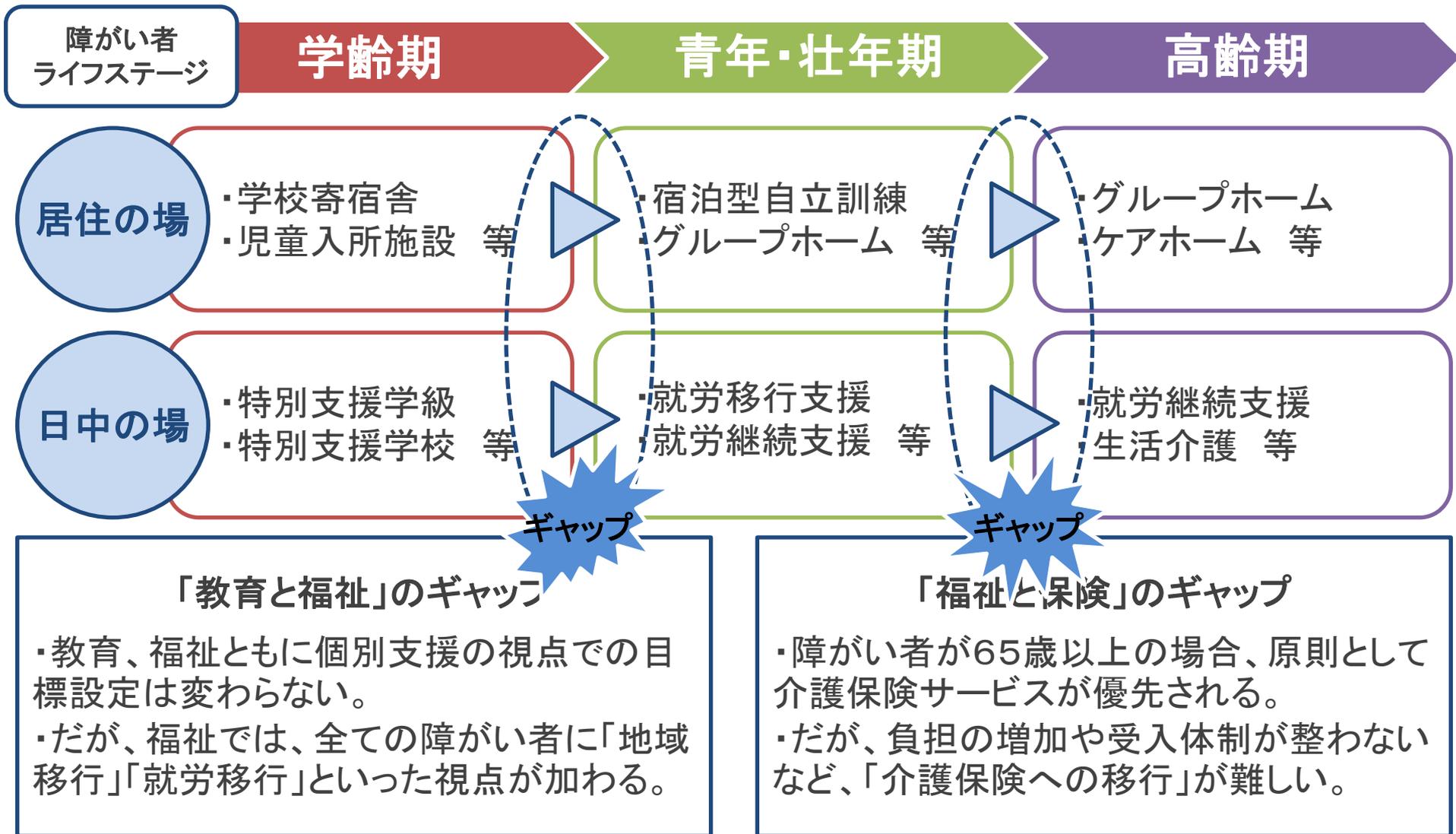
「選択・決定」の確保

障がい者の高齢化

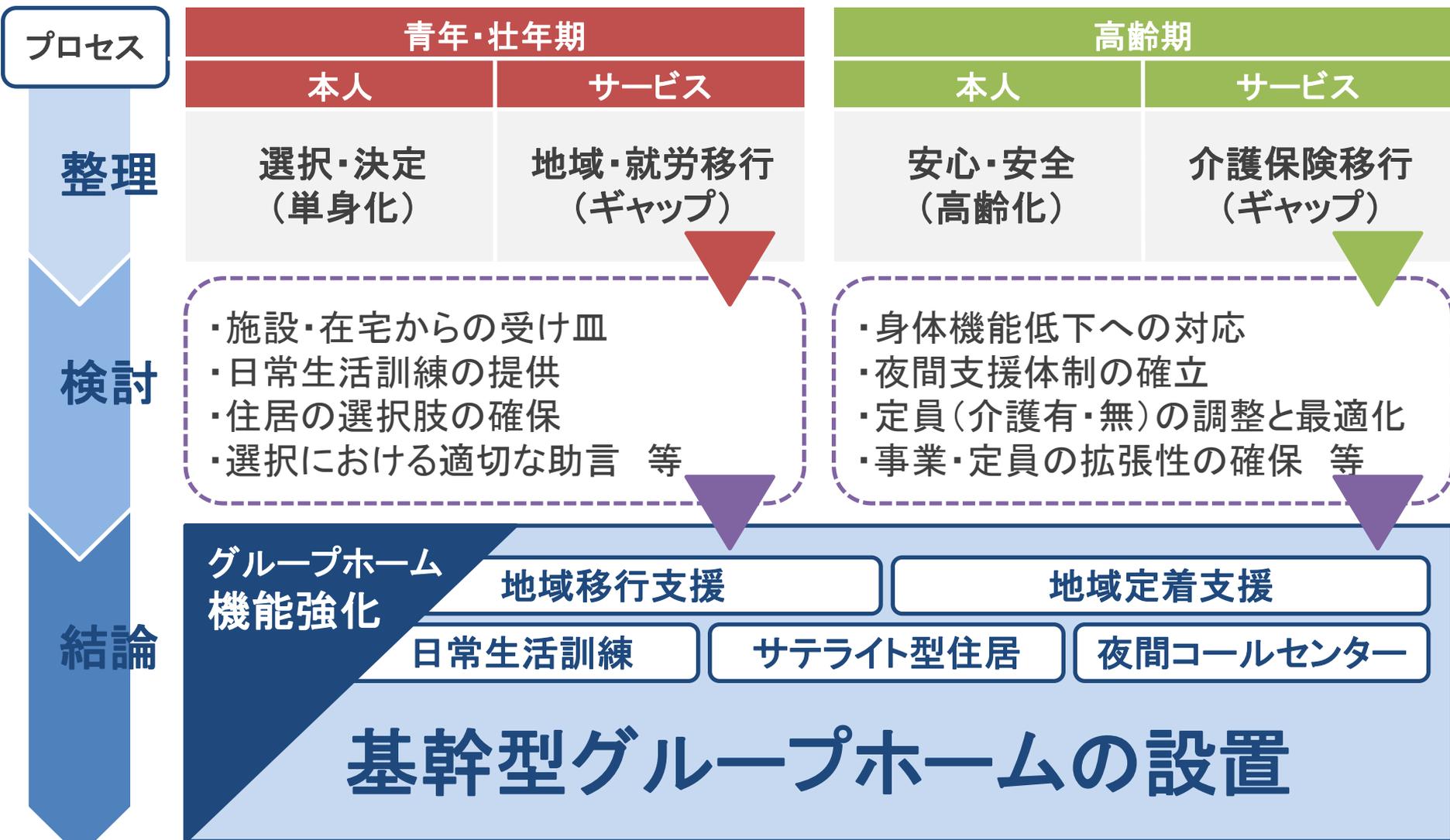
・住み慣れた場所で、安心した生活を送れるようにするためのサービス提供体制の整備

「安心・安全」の確保

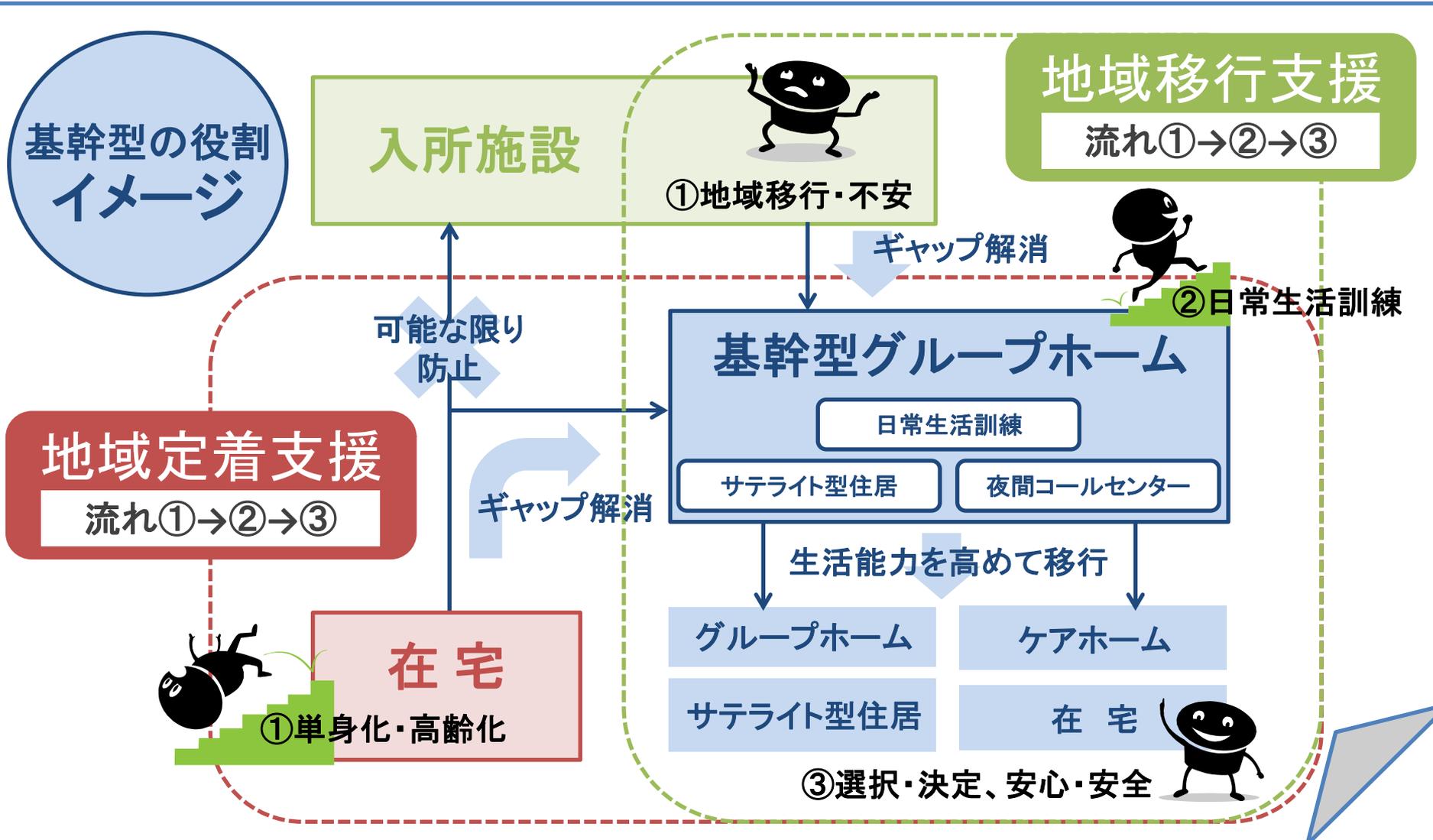
2 受け皿となるサービス提供体制の現状と課題



3 課題の整理と施策の方向



4 基幹型グループホームの役割・機能(1/2)



5 基幹型グループホームの役割・機能(2/2)

基幹型グループホームに備えるべき機能

日常生活訓練

・帰宅後、居住の場における日常生活能力の維持・向上のための訓練を提供。地域移行・定着のサポートを行う。

地域移行・定着

サテライト型住居

・共同生活住居だけでなく、単身生活住居のニーズにも対応。積極活用により事業・定員の拡張性を確保する。

選択・決定の確保

夜間コールセンター

・利用者や地域移行者に緊急の事態が生じたときの窓口を設置。必要に応じて、利用者の呼び出しなどに対応する。

安全・安心の確保

サテライト住居(共同)

サテライト住居(単身)

サテライト住居(拡張)

共同生活住居(GH)

共同生活住居(CH)

在宅(地域移行者)

それぞれの居住の場で、可能な限り自立した地域生活